

オ-1

進 8

電子複写不可



昭和一六二二〇七二

垣 (160) 部隊関係書類綴

防衛研修所図書館



參謀長ノ巡視ノ際ニ於ケル口演要旨

自分ハ師團長ノ側近ニ居テ師團長ノ常ニ言ツ  
 テ居ラル、コトヲ承ツ居ルノテ茲ニ師團長ノ  
 御意圖ヲ傳達シ諸官ノ猛省ヲ促ス次第デア  
 吾人ハ如何ニ考ヘテ居ルヘキカ大東亞戰爭ハ  
 日本軍カ「ワシントン」ヲ占領シ日ノ丸ノ旗ヲ樹  
 テ夕場合ニ初メテ終局ノ目的ヲ達スル之ハ容  
 易ノ事テハナイ即チ戰爭ハ長期派久占據地ノ  
 治安ヲ速ニ恢復シ其ノ兵力ヲ以テ「ワシントン」ヲ  
 速ニ占領セネハナラナイ之カ為先ツ比島ノ治  
 安ヲ圖リ長期戰ニ備ヘナレハナラン以下ニ  
 三師團長ノ御心配ニナツテ居マレシ事項ヲ傳  
 達スル  
 一、比島人ノ習慣ヲ克ク知ルコトカ大切デア  
 ル又

言葉使モ考ヘテヤラネハナラシ或ル比島人ノ  
 街テ警備ニ任レテキル日本軍カ比島人ノ敬禮  
 カ悪イト云ツテ歐打シタ兵カアル敬禮カ悪イ  
 事テスク歐打スル様ナ事ハ止メテ「コウヤツテ敬  
 禮ヲスルノタト教ヘテ呉レ」教ヘテ呉レレハ敬  
 禮ヲスルト答ヘタ比島要人カアルコナ事テ  
 意思ノ疎通ヲ欲カナイ様ニセラレタイ  
 如何ニシテモ制裁ヲ加ヘナケレハナラナイ事  
 カアツテモ平手テ歐打シナイ様ニシテヤツテ  
 欲シイ平手ノ歐打ハ比島人ハ死刑ニ次ク大キ  
 ナ罰ト考ヘ彼等ニ對スル大イナル侮辱テアル  
 カラテアル日本人ノ拳固ハ平手ヨリモ強イ制  
 裁テアルカ比人ニ對シテハ全ク反對ナリテア  
 ル愚無カナルセシテ公自警團員ハ衆人ノ面前ニテ  
 平手テ歐打シタリタリノ叩カレタル比人ハ役場ニ

放火シ公金ヲ拐帶シテ逃セシタ事件カアツタ  
 又比島人ノ言葉ニ注意セネハナラナイ女ノ前  
 ノロロト野菜ノ名前ト一致スル品カアル  
 或ル女カ市場テ野菜ヲ籠ニ入レテ歩イテイタ  
 其ノ背後カラ比島ノ兵隊カ其ノ女ヲ呼ヒ止メ  
 テ野菜ヲホメントシタル時偶然ニモ其ノ野菜  
 ノ名称ト女ノ前ノロロノ呼ヒ方カ一致シタ為  
 ニ其ノ女ハ大勢ノ前テ自分ノ貞操ヲ求めラレ  
 シト誤解シ羞恥ト侮辱ヲ感シ飛タ閑著ヲ起セ  
 シ事件カアツタ  
 二 將校以下強姦ノ行為ハ絶対ニナイ様ニセラ度  
 イ一人ノ強姦行為ハ其ノ地方ノミナラス全島  
 ノ治安ヲ乱ス大キナ原因トナルノテアル  
 又庫中ニ於ケル強姦ハ本年二月改正ノ陸軍刑

法ニ依レハ死刑ニ處セラレ、ノテアル  
 之ニ關聯シテ述ヘルト比島人ノ女ハ殆ニト梅毒  
 林病等殊ニ悪性テ感染スレハ取返シノツカナ  
 イコトニナルカラ十分注意セラ度イ  
 三金錢ノ乱用ヲ嚴ニ戒シメラ度イ  
 駐留久シキニ從ヒ私金カ入用トナリ遂ニ金ニ  
 窮シテ軍ノガソリニ自動車ノ部品等ヲ賣却セ  
 シモノ或ハ齒獲ノ拳銃ヲ軍ノ使用セル密偵ニ  
 (金十月ニテ)押賣セルモノ又甚クシキハ三八式步  
 兵銃ヲ支那人ニ賣却セントセシモノ等カアル  
 ノテアル自肅自戒セラル、ト共ニ幹部ノ監視  
 監督ヲ望ンテ上マナイ次第テアル  
 四警戒ヲ嚴重ニセラレ度イ駐留久シキニ至ルト  
 一般土民ニ對スル警戒力不十分トナリ速ニ衛  
 兵歩哨等ハ緊張ヲ致ク者カアル

歩哨ノ銃ノ保持カ悪カツタ蓋ニ比人ニ馬鹿ニ  
 サレ嘗メラレタ分哨カアル先般「ルンパン」ニ於テ  
 歩哨ノ油断カラ襲撃サレ四名カ戦死シニ名カ  
 重傷ヲ負フタ事件カアル又某隊ノ兵ニ名ハ部  
 落民ト雜談中背後カラ棍棒テ強打サレ重傷ヲ  
 負フタ者モアル巡察者ニシテ銃ヲ天坪棒ノ如  
 ク荷ヒアルモノ等ハ悉ク緊張ノ欵キタル證據  
 テアル意ク注意指導セラレ度イ  
 五地方物資トノ物々交換ニオツテハ比島人ニ馬鹿  
 ニサレル様ナ行爲、ナキ標努メラレ度イ  
 某地テ日本ノ兵カ比島人カラ「バナナ」一房ヲ貰  
 ヒ之ニ對シ米一袋ヲ與ヘタモノカアル  
 常識テ考テモ解ル様ナ事ヲ平氣テヤツテ居ル  
 ノテアルカラ比人ノ如キモノニ迄馬鹿ニサレ

且嘗メラレルノテアル克ク注意指導サレ度イ  
六米國人ハ戰前ヨリ日本人ハ野蠻ナリト比島人  
ニ宣傳シアリ比島人ハ常ニ此ノ觀念カラ日本  
人ノ行爲ヲ視テ居ル日本人カ台湾ノ裸体ノ蕃  
人ヲ野蠻人ト見ル如ク比島ニ於テモ眞地ノ裸  
体土民ヲ野蠻人ト見下等生活者トシテナル此  
ノ林ニ裸体ヲ嫌フ比島人ハ日本軍ノ裸体ヲ如  
何ニ見ルカ此ノ點十分考ヘテ裸体ノ行爲ハ遠  
慮セラレ度イ  
然ラスシテ裸体ノ行爲辱々ナリトスレハ米國  
ノ宣傳ハ思フ壺ニ嵌マルコトカ明カテアル良  
ク注意シテ戴キ度イ  
以上述ヘラレタル注意ハ重要事項ニ付一兵ニ  
至ル迄徹底セシメラレ度シ

寫  
渡集團第一二三號  
垣第六五五部隊經理部經由

### 貯金獎勵ノ件通牒

昭和十七年八月六日

渡集團參謀長

#### 隸下各部隊長殿

當軍ニ於ケル郵便貯金實施成績ハ野戰郵便所開設  
以來各部隊ノ指導適切ノタメ最近ニ於テ一月ニ  
十二日開所以來三ニ〇余万圓ニ達セリ然レ共駐  
留久シキニ涉リ他面軍票放出額ノ狀況並ニ今回  
給與令改正ニ伴ヒ准士官以下ノ給與ハ一段ト増  
額ナレシ現況ニ鑑ミ一層消費節約ニ努メ貯金  
勵行實績ノ向上ヲ期スルガ如ク指導ナレ度  
尚貯金標準額ハ概ネ左記通ニ付實施部隊ハ  
参考トサレ度